受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ　リアル資産成長ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第102期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界のリアル資産関連株式※を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

※ファンドにおいて、リアル資産関連株式とは、不動産・インフラストラクチャー・自然資源・森林といった資産の保有等による賃貸料、使用料および売買等が主な収益源泉となり、安定した収益基盤を有する企業が発行する株式を示します。以下、同じです。

第102期末（2024年７月18日）	
基　準　価　額	8,310円
純　資　産　総　額	49百万円
第97期～第102期	
騰　落　率	10.7%
分配金（税込み）合計	360円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記＜お問い合わせ先＞のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

Invesco

インベスコ　リアル資産成長ファンド（毎月決算型）

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第 97 期（決算日　2024年２月19日）
第 98 期（決算日　2024年３月18日）
第 99 期（決算日　2024年４月18日）
第100期（決算日　2024年５月20日）
第101期（決算日　2024年６月18日）
第102期（決算日　2024年７月18日）
作成対象期間（2024年１月19日～2024年７月18日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番１号六本木ヒルズ森タワー14階

＜お問い合わせ先＞

お問い合わせダイヤル：(03) 6447－3100
(受付時間：毎営業日の午前９時から午後５時)

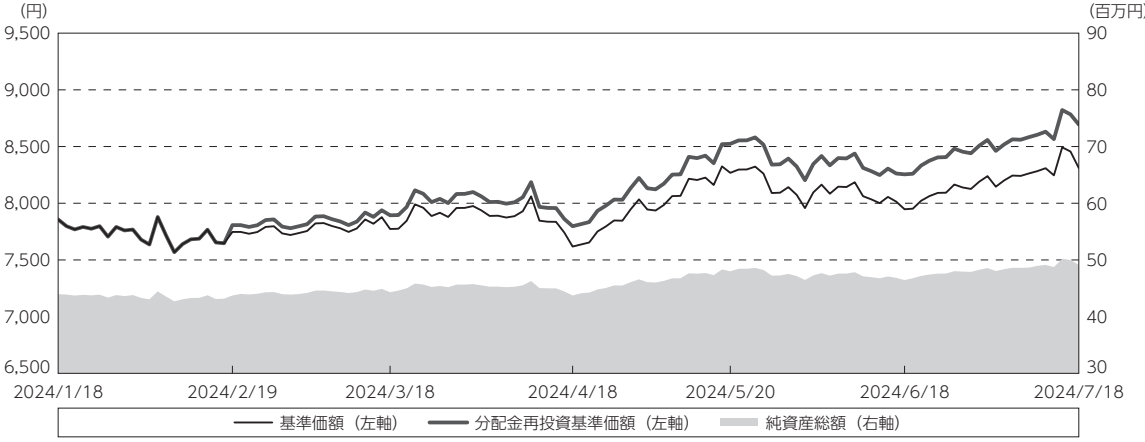
ホームページ　https ://www. invesco. com/jp/ja/

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2024年1月19日～2024年7月18日）



第 97 期首：7,857円
第102期末：8,310円（既払分配金（税込み）：360円）
騰　落　率：　10.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年１月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

［上昇要因］

・世界のリアル資産関連株式などを実質的な主要投資対象としていることから、実質的に保有する不動産（ＲＥＩＴを含む）、インフラストラクチャー、自然資源、そして森林関連株式から得られるインカム・リターンが基準価額の上昇要因となりました。
・ファンダメンタルズ分析およびＥＳＧ評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築した結果、ミッドストリーム事業を手掛けるTarga Resourcesなどのインフラストラクチャー関連株式が作成期中を通して堅調に推移したことが基準価額の上昇要因となりました。
・当作成期間中、米国における政策金利の引き下げ開始時期が後ずれする中で、円安が進行したことが基準価額の上昇要因となりました。

［下落要因］

・低調な木材価格および決算を背景に、林業関連銘柄のCanforやInterforといった森林関連株式が作成期中を通して下落したことが基準価額の下落要因となりました。

１万口当たりの費用明細

（2024年１月19日～2024年７月18日）

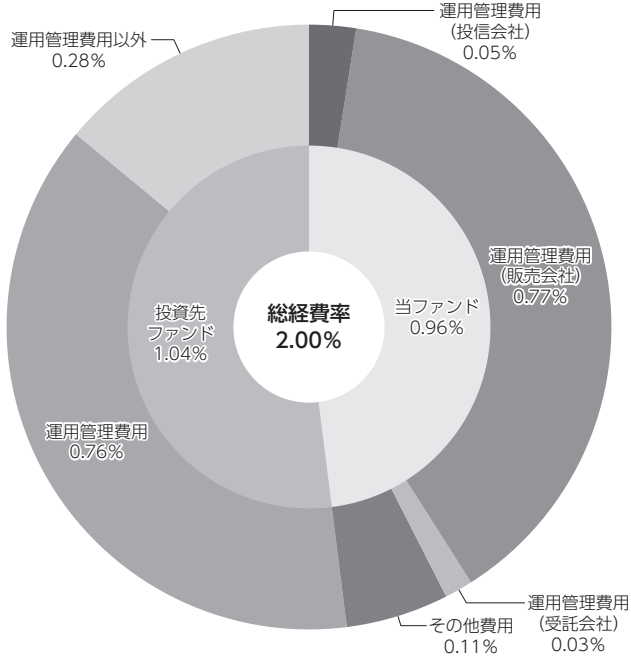
項目	第97期～第102期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	34	0.427	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(2)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(30)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.055	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(3)	(0.041)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合計	38	0.482	
作成期間の平均基準価額は、7,912円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第４位を四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00％です。



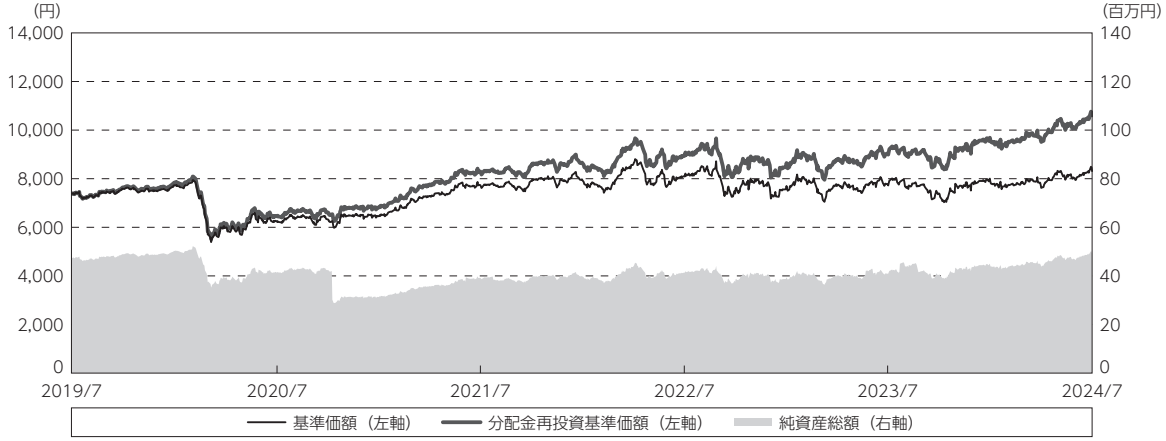
（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**2.00**
①当ファンドの費用の比率	0.96
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.76
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2019年７月18日～2024年７月18日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2019年７月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年７月18日 決算日	2020年７月20日 決算日	2021年７月19日 決算日	2022年７月19日 決算日	2023年７月18日 決算日	2024年７月18日 決算日
基準価額　(円)	7,396	6,227	7,735	8,111	7,766	8,310
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	240	240	240	400	720
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	△ 12.8	28.6	8.1	0.8	17.3
純資産総額　(百万円)	47	41	39	41	40	49

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドは、世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているリアル資産関連株式に投資するため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

（2024年1月19日～2024年7月18日）

リアル資産関連株式（S&P Real Assets Equity Total Return Index；米ドルベース）	＋8.8%
世界株式（MSCI World Net Total Return USD Index；米ドルベース）	＋14.8%
米ドル／円　155円86銭（前作成期末　148円26銭）	

※各指数の騰落率は当作成期末時点（対前作成期末比）、米ドル／円は当作成期末の数値です。

≪グローバル株式市場≫

グローバル株式市場は、2024年の年初から年央にかけて米国におけるインフレの鈍化、雇用の軟化、消費の底堅さなどが確認された中で、ハイテク株を中心に作成期中を通して堅調に推移する展開となりました。

米国では、当作成期間を通して、パウエル米連邦準備理事会（ＦＲＢ）議長の発言がハト派寄りに傾く中で市場心理が改善し、ハイテク株を中心に上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（ＥＣＢ）による利下げ期待の拡大や長期金利の低下などが続いたことが好感され、当作成期の作成期初から作成期央にかけて上昇基調となりました。アジアでは、日本については当面緩和的な金融環境が続くとの観測が広がり、買い基調が続きました。また、中国では政府資金の買い支えや空売り規制などの株価対策が好感され、当作成期の作成期初から作成期央にかけて堅調に推移しました。

また、リアル資産関連株式に関して、金、銀、銅をはじめとするコモディティ価格の上昇などが市場心理の改善に繋がり、自然資源関連株式は作成期中を通して大幅に反発しました。インフラストラクチャー関連株式は、原油価格の上昇などが好感され、ミッドストリーム関連銘柄を中心に作成期中を通して堅調に推移しました。不動産関連株式については、欧州における利下げ期待や米国における底堅い消費などが下支えとなり、作成期中を通して上昇しました。森林関連株式は、当作成期の作成期央から作成期末にかけて米国長期金利が低下に転じたことなどが市場心理の改善に繋がり、底堅く推移しました。

≪為替市場≫

当作成期間中、米ドル／円は、前作成期から上昇する展開となりました。米国における利下げ開始時期の後ずれ、日本における金融引き締めペースが予想よりも遅いことが主因となり、作成期中を通して米ドル高／円安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年1月19日～2024年7月18日）

インベスコ　リアル資産成長　マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ　マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド　クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）に投資を行いました。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびＥＳＧ評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築しました。具体的には、当作成期末にかけて、ファンダメンタルズの良好な不動産関連株式およびインフラストラクチャー関連株式の組入比率を相対的に高めに維持しました。また、自然資源関連株式の組入比率を前作成期と同程度に維持し、森林関連株式の組入比率を前作成期よりやや高めました。国別配分では、米国を中心として、カナダ、英国の組み入れを高めとしました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

＜ＥＳＧを主要な要素として選定する投資対象への投資額の比率について＞

投資先ファンドにおける組入資産ベースで100％を目安とします。2024年２月29日時点の投資先ファンドにおける組入比率は100.16％です。

（注）マザーファンドが主要投資対象とする「インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド　クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）」の純資産総額に対する割合です。

＜インベスコのスチュワードシップ方針＞

当社およびインベスコ・グループ全体におけるスチュワードシップに関する取り組みについては、以下をご参照ください。

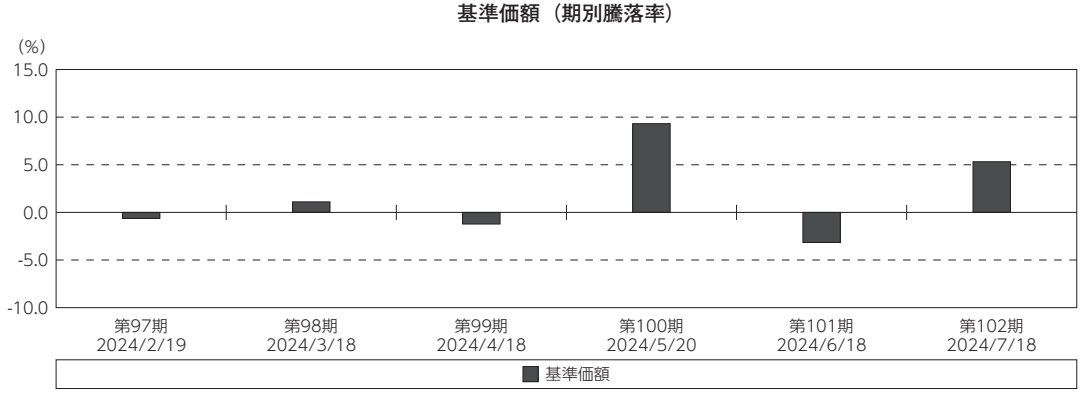
スチュワードシップ・レポート

https://www.invesco.com/jp/ja/policies/stewardship-report.html

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年1月19日～2024年7月18日）

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。
下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率（分配金込み）です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2024年1月19日～2024年7月18日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第97期から第102期は1万口当たり60円（全て税込み）とさせていただきました。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項　　目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2024年1月19日～2024年2月19日	2024年2月20日～2024年3月18日	2024年3月19日～2024年4月18日	2024年4月19日～2024年5月20日	2024年5月21日～2024年6月18日	2024年6月19日～2024年7月18日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	0.769%	0.766%	0.781%	0.720%	0.749%	0.717%
当期の収益	－	－	－	－	－	－
当期の収益以外	60	60	60	60	60	60
翌期繰越分配対象額	6,050	5,990	5,930	5,870	5,810	5,750

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド　クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）に投資を行います。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびＥＳＧ評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。具体的には、銘柄選定において、投資対象企業の保有する実物資産のクオリティ、財務体質、経営方針などに着目します。また、地域やセクター分析を通じて相対的に高い利益および配当成長を生み出す企業を見極める方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

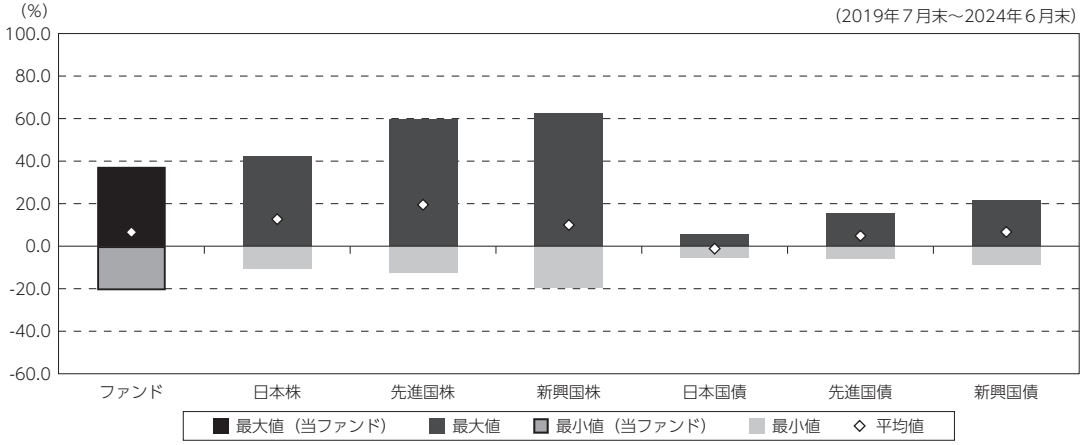
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2026年２月18日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界（日本を含みます。以下、同じです。）のリアル資産関連株式に実質的に投資することにより、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ　リアル資産成長ファンド（毎月決算型）	「インベスコ　リアル資産成長　マザーファンド」および「インベスコ　マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ　リアル資産成長マザーファンド	別に定める投資信託証券※へ投資し、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人などが発行する株式、株式関連証券、不動産投資信託証券および債券に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド　クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）です。
	インベスコ　マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	・主として世界のリアル資産関連株式に投資します。 ・銘柄選択にあたっては、ファンダメンタルズ分析およびESG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。	
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	6.6	12.7	19.5	10.0	−1.2	4.9	6.7
最大値	37.3	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	−20.7	−10.8	−12.4	−19.4	−5.5	−6.1	−8.8

（注）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2019年７月から2024年６月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI － EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P15の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

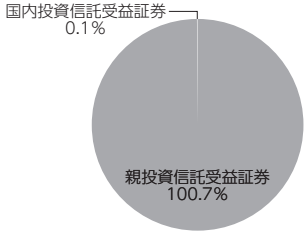
（2024年7月18日現在）

○組入上位ファンド

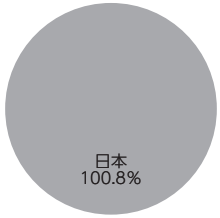
銘　柄　名	第102期末
	%
インベスコ　リアル資産成長　マザーファンド	100.7
インベスコ　マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	0.1
組入銘柄数	2銘柄

（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

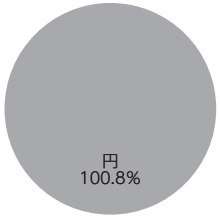
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

純資産等

項　　目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2024年２月19日	2024年３月18日	2024年４月18日	2024年５月20日	2024年６月18日	2024年７月18日
純資産総額	43,728,535円	44,303,534円	43,730,954円	47,991,511円	46,446,570円	49,130,055円
受益権総口数	56,446,830口	56,999,579口	57,407,432口	58,042,003口	58,448,891口	59,123,876口
１万口当たり基準価額	7,747円	7,773円	7,618円	8,268円	7,947円	8,310円

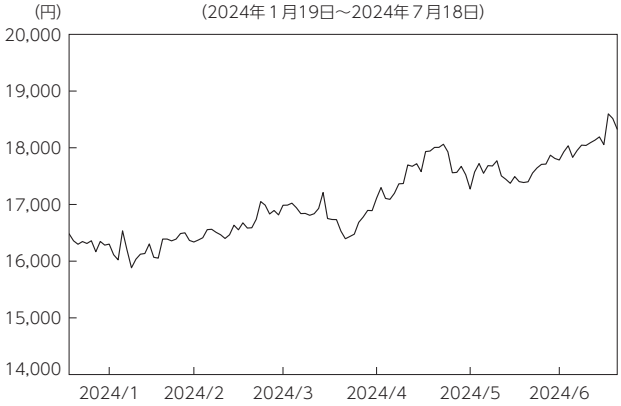
＊作成期間（第97期～第102期）中における追加設定元本額は3,651,832円、同解約元本額は463,564円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ　リアル資産成長　マザーファンド

【基準価額の推移】

（2024年１月19日～2024年７月18日）



【１万口当たりの費用明細】

（2024年１月19日～2024年７月18日）

該当事項はございません。

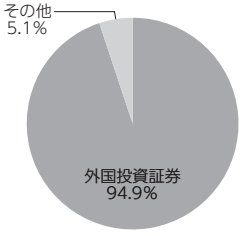
【組入上位ファンド】

（2024年７月18日現在）

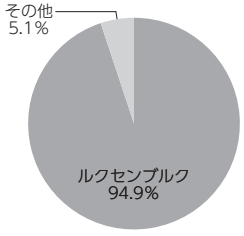
銘柄名	第17期末
	%
インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド　クラスC-Acc	94.9
組入銘柄数	1銘柄

（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

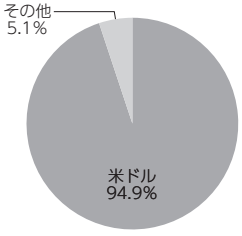
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。
（注）その他には現金等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

（参考情報）ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド

「インベスコ　世界インカム不動産　マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ　レスポンシブル・グローバル・リアル・アセッツ・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

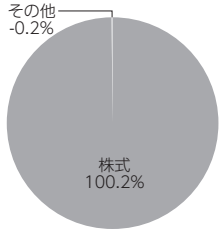
【組入上位10銘柄】

（2024年2月29日現在）

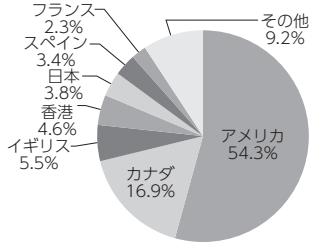
	銘柄名	種別	比率
			%
1	Enbridge Inc	株式	5.1
2	Equinix Inc	株式	3.9
3	Prologis Inc	株式	3.6
4	American Tower Corp	株式	3.5
5	Targa Resources Corp	株式	3.4
6	Cellnex Telecom SA 144A	株式	3.4
7	Cheniere Energy Inc	株式	3.3
8	National Grid Plc	株式	3.1
9	American Water Works Co Inc	株式	3.0
10	Public Storage	株式	3.0
組入銘柄数		55銘柄	

（注）比率は、純資産に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

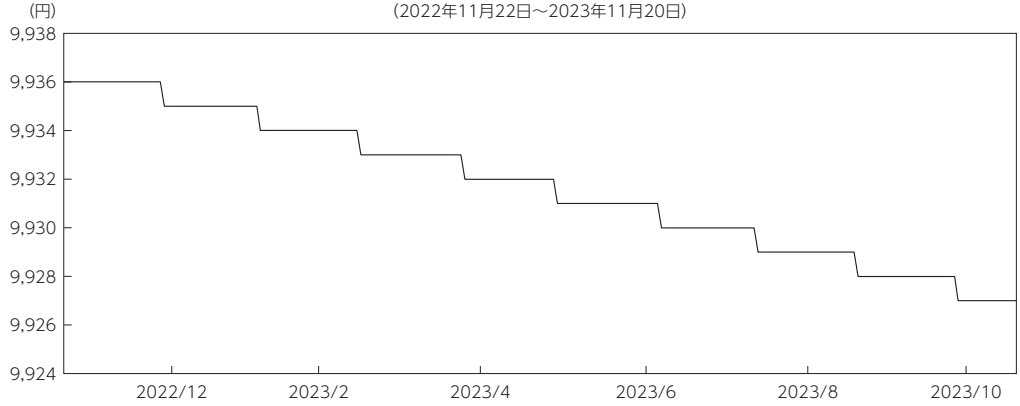
必要な情報が開示されておりません。

（注）比率は、純資産に対する割合です。
（注）その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ　マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

【基準価額の推移】

（2022年11月22日～2023年11月20日）



【１万口当たりの費用明細】

（2022年11月22日～2023年11月20日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	0	0.000	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(0)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、9,931円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第４位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

（2023年11月20日現在）

2023年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM／ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI － EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）
JPモルガンGBI － EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI － EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM／ロイター値）を乗じて算出しています。
指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。